

としよかん だより



2021. 6 NO.194

〒671-2576
穴栗市山崎町鹿沢 81

穴栗市立図書館

TEL 62-4620
FAX 62-9688

「英語で書かれた本を読む」

栗山 こまよ

大人になってから、本を読み終えて「達成感」や「満足感」を感じたことはありませんか？

子どもの時は本を読み終わった後の達成感を得るのは容易だった。前よりも分厚い本に挑戦すれば、達成感が増したし、背伸びをして難しい内容のものを読み終えれば、大人になったような気もした。大人になってしまえば、それも慣れできて薄れてしまう。

最近、私が子どもの時のような満足感を味わったのは、村上春樹の『国境の南、太陽の西』の英語版『South of the Border, West of the Sun』を読み切った時である。

私の英語レベルはとても乏しく、もちろん、小説に出てくる単語を全て理解などしていない。かといって調べることもしない。そんなことをしていても、読み終えることができない。わからないところは、想像力を働かせて補うことと

なる。

これが日本語で読む小説との大きな違いである。日本語であれば、ストレスなく行われるはずだったストーリーのイメージ化が、ぼやけて空白だらけになってしまう。まるでクイズ番組の映像ヒントでモザイクがかかっているかのようだ。日本語の小説とは明らかに脳の使っている部分が違うのではないかと感じる。

そうやってイメージを補いながら、読んだストーリーは、村上春樹のオリジナルとは違っていかもしれない。ところが、自分が監督となつて作り上げたストーリーは、細部まで自分の中で映像化される。のめりこみ具合が違うのだ。最後まで読みきったときの達成感、満足感、充実感と言うものは、日本語でのそれとは比べ物にならない。

穴栗市で手に入れるのは困難な英語書籍。なんと図書館で借りられることになった。新たな挑戦ができる！とりあえずは、薄いもの、和訳付きのものから手を出してみようと思う。

あなたも挑戦してみませんか？

こんな本あります 『きらめく拍手の音』

手で話す人々とともに生きる』

イギル・ボラ著 矢澤 浩子訳

(リトルモア 2020年刊)

著者は音の聞こえない両親から生まれました。彼女は手で話すことを母語として覚え、後に家庭の外で音声言語を知りました。

彼女のように、“聞こえない両親から生まれた聞こえる子ども”はコーダ（Children of Deaf Adults）と呼ばれ、通訳として両親と聞こえる人々をつなぐ役割を幼少期から担うことになります。彼女もそうでした。幼い身で銀行に電話をかけ、両親に代わって借入れの相談をする。出会った人に両親が手話でしか話せ

ないことを説明する。そうした日々の中で、世間からの差別や偏見を目の当たりにし、人から哀れまれていると感じてきました。しかし、彼女はこう語ります。「私は、手で話し、愛し、悲しむ人たちの世界が特別なんだと思ってきた。正確に言うと、自分の父や母が誰より美しいと思っていた。」障害者の子として扱われる自分と両親の世界を尊いと感じる自分。やがて彼女は「私は何者か」という問いに直面していきます。

本書はコーダとして生きる著者の、アイデンティティ探しの記録です。同時に、聞こえない人々と、聞こえる人々の世界の違いを、その境界に立ってきた者の目から私たちに教えてくれます。二つの世界の「違い」に敬意を払い、豊かな関係を築いてほしいと著者は願っています。

子どもの本 25

「ねぼすけはとどけい」

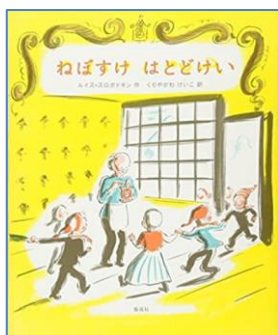
ルイス・スロボドキン 作
くりやがわ けいこ 訳（偕成社）

山奥の村に時計屋がありました。壁一面に鳩時計が並んでいて、時間になるといっせいに鳩がとび出し「ポッポ」と鳴きます。ところが、一羽だけはいつも遅れて出てきました。

ある日、ガラビア国の王さまが時計屋へやってきました。王さまは鳩時計が気に入って、「全部買うぞ。」と言いました。ちょうどその時、三時になり、鳩がいっせいにとび出して鳴きました。

「ポッポ」「ポッポ」「ポッポ」王さまは大喜びです。ところが、あの鳩が遅れてとび出しました。店のおじいさんはあわてて、明日の朝までに修理をする」と約束をしました。

おじいさんが見つけた、鳩が遅れる理由と解決方法がほほえましく、やわらかな色調の絵がおはなしの温かみを伝えます。読んでもらえば、六歳くらいから楽しめます。



「ふたりのロッテ」

エーリヒ・ケストナー 作
高橋 健二 訳（岩波書店）

子どもたちが夏の休暇を過ごす子どもの家でルイーゼとロッテは出会いました。その場にいた全員が驚きました。ふたりは髪型以外、瓜二つだったのです。

ルイーゼとロッテは話すうちに、自分たちが双子の姉妹だと気がつきました。ふたりがお互いの髪型に変えると、だれも見分けられませんでした。入れ替わったまま、ルイーゼはお母さんが待つロッテの家へ、ロッテはお父さんが待つルイーゼの家へ帰りました。どうにかして、両親を仲直りさせ、四人で暮らす方法を見つけようとしていたのです。

外見はそっくりでも、性格が大きく異なるふたりの入れ替わり生活はスリルがいっぱいです。同じ出版社から新訳も出版されています。十歳くらいから楽しめます。



新着図書紹介

◆このリストは5月末までに入った本の一部です◆

書 名	著 者	出版社	件 名
エクセル方眼紙で文書を作るのはやめなさい	四禮 静子	技術評論社	エクセル
世界書店紀行	金 彦鎬	出版メディアパル	書籍商
私は正しい その正義感が怒りにつながる	安藤 俊介	産業編集センター	正義
災害とたたかう大名たち	藤田 達生	KADOKAWA	日本史
魔女街道の旅	西村 佑子	山と溪谷社	紀行
奥会津最後のマタギ 自然との共生を目指す山の番人	滝田 誠一郎	小学館	マタギ
発達障害の子どもの実行機能を伸ばす本	—————	講談社	発達障害
完落ち 警視庁捜査一課「取調室」秘録	赤石 晋一郎	文藝春秋	犯罪捜査
実践！介護フットケア 元気に歩く「足」のために	—————	講談社	足疾患
APD＜聴覚情報処理障害＞がわかる本 聞きとる力の高め方	—————	講談社	聴覚障害
鼻専門医が教える「熟睡」を手にする最高の方法	黄川田 徹	日経 BP 日本経済新聞出版本部	鼻疾患
トコトンやさしい土木技術の本	溝渕 利明	日刊工業新聞社	土木工学
緑と暮らす。 自然を感じる、心地のいい庭のつくり方	—————	エクスナレッジ	住宅建築
有賀薫の豚汁レボリューション 野菜一品からつくる50のレシピ	有賀 薫	家の光協会	料理
藤井恵さんのむずかしくないお魚レシピ	藤井 恵	講談社	魚料理
サカタフルーツパーラー フルーツを楽しむ56のレシピ	坂田 阿希子	グラフィック社	菓子
「農地転用の手続」何をするかがわかる本	若子 昭一	セルバ出版	農地法
長生きする鳥の育てかた	細川 博昭	誠文堂新光社	小鳥飼育
コップひとつから始めるゆる～い野菜づくり	やさい畑編集部編	家の光協会	家庭菜園
活発脳をつくる60歳からの切り紙	—————	主婦の友社	切り紙
あの夏の正解	早見 和真	新潮社	高校野球
比べて楽しい国語辞書ディープな読み方	ながさわ	河出書房新社	日本語
韓国語の語源図鑑 一度見たら忘れない！	阪堂 千津子	かんき出版	韓国語
児童文学の中の家	深井 せつ子	エクスナレッジ	児童文学
アウシュヴィッツで君を想う	エディ・デ・ウインド	早川書房	ホロコースト
3人で親になってみた ママとパパ、ときどきゴンちゃん	杉山 文野	毎日新聞出版	ルポルタージュ
レッドネック	相場 英雄	角川春樹事務所	日本小説
にぎやかな落日 たんす、おべんと、クリスマス	朝倉 かすみ	光文社	日本小説
百合中毒	井上 荒野	集英社	日本小説
あした、この国は崩壊する ポストコロナとMMT	黒野 伸一	ライブ・パブリッシング	日本小説
己丑(きちゅう)の大火 照降町四季(2)	佐伯 泰英	文藝春秋	日本小説
義士切腹 忠臣蔵の姫 阿久利	佐々木 裕一	小学館	日本小説
あしたの官僚	周木 律	新潮社	日本小説
グッバイ・イエロー・ブリック・ロード 東京バンドワゴン(16)	小路 幸也	集英社	日本小説
ブックキーパー脳男	首藤 瓜於	講談社	日本小説
われらの世紀 真藤順文作品集	真藤 順文	光文社	日本小説
破天荒	高杉 良	新潮社	日本小説
非弁護人	月村 了衛	徳間書店	日本小説
カード師	中村 文則	朝日新聞出版	日本小説
臨床の砦	夏川 草介	小学館	日本小説
風は山から吹いている Why climb mountains with me?	額賀 滯	二見書房	日本小説
エレジーは流れない	三浦 しをん	双葉社	日本小説
月下のサクラ	柚月 裕子	徳間書店	日本小説
うかれ十郎兵衛	吉森 大祐	講談社	日本小説
人間であることをやめるな	半藤 一利	講談社	エッセイ
ミカンの味	チョ・ナムジュ	朝日新聞出版	外国小説
メッセージ トーベ・ヤンソン自選短篇集	トーベ・ヤンソン	フィルムアート社	外国小説
ミシンの見る夢	ビアンカ・ピッツオルノ	河出書房新社	外国小説

◆ 読書講演会 ◆ 『絵本づくりは駅伝ですよ』

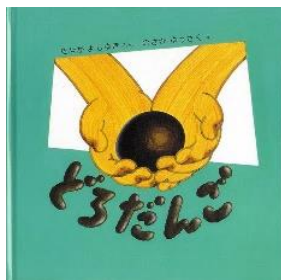
6月25日(金) 13時30分～15時30分

≪場所≫ 宍粟防災センター 4階 研修室

≪講師≫ 野坂 勇作さん(絵本作家)

≪定員≫ 30名(要申込・先着順)

昨年、図書館で開催し、好評だった
絵本原画展「のさかゆうさくの世界」。
今年はその作者野坂勇作さんをお招きし
講演会を開きます。



『どろだんご』
たなか よしゆき 文
のさか ゆうさく 絵 福音館書店



『にゅうどうくも』
野坂 勇作 作
根本 順吉 監修 福音館書店

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、
中止、または、変更になる場合があります。

えほんのじかん・

おはなしのじかん

※6月はお休みします。



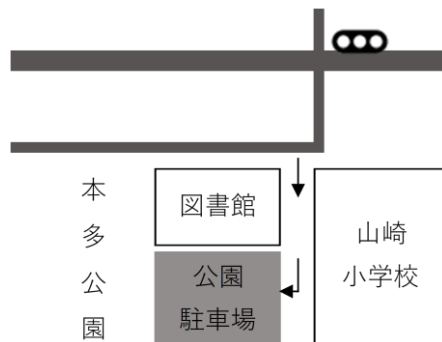
読 書 会

※6月は休会します。

次回は『下町ロケット』池井戸 潤 著

お知らせ

7月1日から図書館北側の駐車場が
使用できなくなります。
隣接の公園駐車場(下図)を
ご利用ください。



移動図書館車

ささゆり号

運行予定日



巡回場所	6月	7月	貸出時間
山崎町内	15日(火)	13日(火)	10時～14時
千種町内	16日(水)	14日(水)	11時～14時
一宮町内	19日(土)	17日(土)	9時15分～15時
波賀町(学校・幼稚園)	2日(水)	7日(水)	10時15分～16時
波賀町内巡回	26日(土)	24日(土)	10時30分～15時

※ 巡回形式のため時間によって貸出場所は変わります。
場所・時間の変更の可能性があります。詳しくはお問合せください。
しーたん放送でもお知らせしています。

図書館カレンダー

6 月

7 月

日	月	火	水	木	金	土
		△	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

×休館: 月曜日・祝日・年末年始
(但し、月曜日と祝日が重なる時は、
翌火曜日も休館)

△閉館: 月末館内整理
・特別整理期間

開館時間:
9時30分～17時30分
(金曜日のみ18時30分まで)

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、各行事が中止、または、変更になる場合があります。